

# CPA 政連ニュース

日本公認会計士政治連盟

2017年04月15日  
第420号発行所  
日本公認会計士政治連盟  
〒102-8264  
東京都千代田区九段南4-4-1  
公認会計士会館  
電話03-3515-1155発行人 森 公高  
編集人 林 敏子■ 公認会計士の知見を活かして  
内閣府と金融庁の政務官として活躍

■ 活動報告

- 「武村展英新春のつどい」に参加
- 「西村やすし君特別セミナー」に参加
- 京滋地方会近況報告
- 「おだち選挙を囲む公認会計士の会」を開催
- 若林健太「健政会朝食セミナー」に参加
- 小田原きよし議員と意見交換
- 国際会計士連盟(IFAC)会長、  
杉久武財務大臣政務官を敬愛訪問

ACT TOGETHER URL <http://www.cpa-seiren.jp>

内閣府大臣政務官 武村展英 衆議院議員 インタビュー

## 公認会計士の知見を活かして 内閣府と金融庁の 政務官として活躍

今回は、衆議院議員2期目にして内閣府大臣政務官の重職を務められる武村展英議員です。経済政策執行の中心からどのような世界が見えているのか、公認会計士の視点からお話いただきました。

山田治彦  
(政連専任理事)

武村展英 衆議院議員

吉原智子  
(政連専任理事)

写真右下は、滋賀県守山市にある弥生時代後期の巨大政治祭祀空間「伊勢遺跡」。卑弥呼の「邪馬台国近江説」もあるそうだ。

### 大学時代から政策秘書に

山田 公認会計士から国会議員になられたのはどういっきっかけですか。

武村 私の出身地である滋賀県で自民党が公募していましたので、手を上げたところがスタートです。ただ、私は公認会計士から政治家というよりも、大学4年からずっと20代は議員会館でスタッフとして働いていたんで

すよ。大学時代から政治志向で、政策秘書の試験を受けて大学4年から政策秘書をやっていました。

山田 では逆に、会計士試験を受けようと思った動機は何ですか。

武村 大学は商学部で、1年生の簿記の授業でも落ちこぼれていたんです。簿記3級よりも簡単な授業でしたが、そこから逃げて、会計科目は1単位も取らずに卒業しました。でもいつかもう1回勉強したいという気持ちは

あったんですね。28歳のときに議員が落選して、議員が失職するとスタッフも失職するんですよ。それを機会に本気で頑張ってみたいなと思って試験を受けました。

山田 簿記3級手前でおちこぼれて、会計士試験というはずいぶん大胆ですね(笑)。  
武村 緻密な作業はもともと苦手ですから、最後まで簿記は苦手でした(笑)。でも、あえて苦手なものに挑戦したいという気持ちもあったんですね。

### 経済財政金融担当として 取り組んでいること

吉原 内閣府大臣政務官に就任されて精力的に取り組まれている課題は何ですか。  
武村 私はいま内閣府と金融庁の政務官という立場で、両方とも経済に関するところで本当にやりたかったことをやらせてもらっています。内閣府では、経済財政政策の司令塔である「経済財政諮問会議」と、成長戦略の

司令塔である「未来投資会議」の二つを担当しています。そこでは皆さんに関係する企業のガバナンスから健康・医療戦略、PFI、個人情報保護、NPO、政府税調など本当にたくさんのご意見を扱っています。

例えば健康・医療戦略では、2025年には医療費がピークに、2030年には介護費がピークになる。それまでにどう医療や介護の提供体制を整えるかというのが、一番大きな課題です。ただアジアでも人口減少社会に今後、突入していきますから、日本での知

見は海外に活かしていくことができます。

吉原 モデルケースになっていくということですね。

武村 はい。いろいろ調べてみると、取り組みによって要介護の認定率を下げっていく事例があるんですね。医療と介護は、これから見える化や合理化を標準化して横展開していくことが必要だと思います。

山田 日本の資本市場を世界で最も効率的、効果的なものにする未来投資会議で議論されていますが、企業の情報開示の在り方についてお考えをお聞かせください。

武村 海外から日本に資本を呼び込んでいく中で、開示は極めて重要ですが、現状は海外から見ると複雑で煩雑です。だから私は思い切って分かりやすいものにする必要があります。いま協会から提言を出している「開示情報の一元化」は、大胆かつスピーディーに取り組んでいかなければならないですね。

山田 それがかなかなか進まない理由として、株主総会の日程の問題があります。投資家と会社の対話は以前に比べると高まっていますが、相変わらず株主総会は6月末開催です。これが海外から見ると、投資家に対してフレンドリーではないという印象を与えています。

武村 まずは内容を一体化していく。それから制度の一本化をしていく。その両方が必要だと思います。株主総会の日程を分散化するのは重要ですから、少し時間がかかるかもしれませんが、海外から見ても力を入れて取り組んでいきたいです。会計士協会からも、日本経済再生本部に対してぜひご意見を言ってください。

### 金融庁で力を入れていること

武村 いま金融庁で私が一番力を入れているのは、地域の金融機関です。事業性評価が言われていますが、トップの意識にもすごく差があります。ある信用組合さんはすごく前向きに事業性評価に取り組んでいて、職員さんの人事評価にまで落とし込んで組織一丸となって取り組んでいる。一方、表向きはお客様第一と言いながら、心の中では全然理解していないトップも多いです。取締役会で社外取締役の方々を入れた実質的な議論をしているかという、そうでもない。つまり地銀のガバナンスです。やはりガバナンス改革が一番重要だと思います。

山田 そういふふう感じられるのは、会計士の経験があるからですか。

武村 いや本当に僕、会計士になって良かったです。常にガバナンスの絵があって、話をしているじゃないですか。国会議員もそうですが、省庁の方々でも会社法の方々の意識がないんですよ。取締役の一人ひとりに権限と責任があるわけですから、それぞれについて責任を正していかなければならないと思います。

### 女性の活躍と働き方改革

吉原 女性の活躍が進められていますが、働く女性にどういったことを期待されますか。

武村 いま内閣府で働き方改革に取り組んでいて、やはり働きやすい職場環境が必要ですね。イクボス宣言はいいと思います。私

は一番最初に監査業務に就いた際、上司が1人のお子さんを持つ女性だったんですね。4時にお子さんを迎えに行かなくてはならない、子供最優先で全てぶん投げて行かれました(笑)。その上上司が理解していたので、私はそれで朝まで働くことが何回かありましたけれど、やはり周りの協力が必要だと思ふんです。最近、監査法人はいかがですか。

吉原 私は監査法人に入って11年目ですが、入ったときは上司に女性がほとんどなくて誰を目標にしたらいいのかわからなかったんですけど、いまは上司に女性が増えて働きやすくなっていると思います。

武村 ぜひ会計士業界が先頭を切って、働き方改革をアピールして女性の比率もどんどん上げていきたいと思います。

吉原 武村議員は大変お忙しいと思うのですが、おやすみは取れていますか。

武村 働き方改革と言っているながら、私は休みがないんですよ(笑)。平日、東京にいるので、土日は地元でフル稼働しないと地元の人に怒られるんです。お祭り、5件、10件、盆踊り踊ったりしてプライベートの時間がほぼない状態です。

吉原 リラックスするために何かされていますか。

武村 それもほとんどなくて、この議員会館の地下にジムがあるんです。プロレスラーだった馳先生や皆さん健康管理には気を使われているので、私もこれからはやっていたいかならないかなと思っています。

山田 健康にご留意して頑張っていた方がいいと、われわれも困ります(笑)。本日は有意義なお話をありがとうございました。



## PROFILE

## 武村 展英 衆議院議員

昭和47年、滋賀県草津生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。平成15年公認会計士第二次試験合格、新日本有限責任監査法人入所。建設業、政府系金融機関等の会計監査、自治体の外部監査、省庁別財務諸表作成のコンサルティング業務に従事。平成26年、第47回衆議院総選挙で二期目当選。